



2021年4月から「廃棄物削減」「CO₂削減」「働きやすい職場」を全社目標に掲げてSDGsへの取り組みを開始しました。今号ではSDGs推進委員会の3つの分科会による取り組みをご紹介します。地球上のみんなで身近なこと、出来ることから始めよう！「Let's Try SDGs！」

廃棄物削減の取り組み「特集」+《活動報告》

【廃棄物抑制の手法と流れ】



廃棄物の排出抑制には、3R(リデュース・リユース・リサイクル)といわれる3つの代表的手法があります。また、リサイクルには、原料として再生するマテリアルリサイクル、バイオマス発電等の燃料として利用を行うサーマルリサイクルという2つの手法があります。廃棄物抑制には、上記①→②→③→④の順に抑制効果の高い手法から連続させて反復して取り組み、排出量をゼロに近づけていくことが有効となります。

当社は、比較的容易な③、④のリサイクルを優先して実行し、より抑制効果が高い手法に切り換えていくことで年間2,600tの排出量抑制を目指します。

全社の産廃年間排出量

木くず	廃プラ	全体
2,036t	269t	2,645t

【静脈物流で循環型社会へ貢献しよう！】



当社は廃家電やエアバックの引取運搬、製品の返品回収等、循環サイクルに不可欠な静脈物流に携わり、事業の柱として社会貢献してきました。循環型社会の成熟につれ、更なる需要拡大が予測されています。コンプライアンス遵守が大前提の事業ですが、積極的に取り組み、社会に貢献していきましょう。

家電リサイクル引取・運搬

10月引取 約2万7千台
10月運搬 約3万3千台

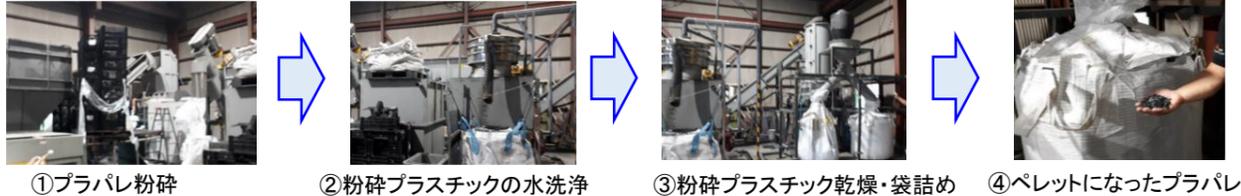
自動車エアバック回収

10月実績 約7千個

《プラスチックリサイクルへの取り組み》

破損したプラスチックパレットは、今まで産業廃棄物として廃棄していましたが、8月よりリサイクル業者に有価物として買取していただき、マテリアルリサイクルを行っています。10月までに九州各店に滞留していた約770枚、14トンの廃パレットを再生原料として引渡しています。※お客様レンタルパレット、再生パレット、金属入りパレットはリサイクル出来ません。

＜プラスチックリサイクルの工程＞



《廃棄物削減分科会メンバー紹介》

営業企画部 倉富 齊 保険事業部 高木 俊輔 総合政策部 三石 裕司 九州地区本部 石井 晃

《分科会より一言》「分別すれば資源！しなければゴミ！」

リサイクル業者の方の言葉ですが、ゴミだと思って廃棄しているもの、例えば段ボールやストレッチフィルムは、分別すれば資源として再利用できます。

ところが他のゴミと一緒に廃棄するとただの一般ゴミとなり再資源化が出来ません。

将来的には、「ゴミ＝資源」となる日が来るのではないかと感じています。

その時は、空き缶を燃料として走る車も映画の世界ではなくなるかもしれません。



CO₂削減の取り組み 《活動報告》

各部・店所の活動及びTDK（トナミ・第一・久留米）各部会と連動した取り組みを行っています。

①モーダルシフト（運輸管理部）

7月から宮崎支店運行便にて、大分大任港→静岡清水港間のフェリー利用開始（CO₂月間6.8 t 減）

②新型デジタコの全店入替完了（資材部・安全管理部）

9月に通信型デジタコへの全店入替完了により、各車両の運転状況の一元管理が可能となりました。今後、省エネ運転に向けた指導へ役立てます。

③共同運行の推進（TDK運輸部会）

4月から北大阪支店発関東行き土曜日運行便の共同運行開始（CO₂月間1.5 t 減）

④共同配送の推進（TDK業務部会）

D社と京都店における共配検討中、TD社と東大阪・南大阪エリアの共配検討中



＜TDK 3社による共同運行及び共同配送実績＞

【共同運行】10月実績

月間 **139 便**
JRコンテナ40便含む

3社による共同運行及び共同配送は業務効率化や働き方改革を目的に開始されましたが、CO₂削減にも貢献しています。その取り組みは、CO₂削減の画期的手段として世間の注目も集めています。

【共同配達】10月実績

受託貨物トン数	委託貨物トン数
月間 593t	月間 739t

《CO₂削減分科会メンバー紹介》

運輸管理部 宮園 雅也 安全管理部 吉田 弥隆 資材部 小川 光一郎
総合政策部 吉山 州平 関東地区本部 坂田 智幸 九州地区本部 西山 伸幸

働きやすい職場推進の取り組み 《活動報告》

《活動目標》

紙ベースの書類の電子化及び報告方法の電子化による業務効率化を行います。

- ①作成書類の電子化を行うため、各種書類フォーマットの電子化を行います。
- ②電子メール等を利用した報告の電子化及び印鑑レスに取り組みます。



グループウェアの機能を有効活用しよう！

「承認報告」

上席者への回覧・承認の上、書類等の電子報告が出来ます。管掌部署が承認経路を登録し、承認者を指定することが出来ます。

「アンケート」

特定の人に意見や要望、数量等の回答をネット上で求めることが出来ます。また、集計結果が即時に確認でき、集計データの2次利用も可能です。アンケート項目を登録することで使用が出来ます。

「回覧」

特定の人に資料等を回覧することで、閲覧確認の有無やコメントによる回答を求めることが出来ます。

【推進状況】
○国土交通省働きやすい職場認証
4月22日に運転者の働きやすい職場認証（一つ星）を全店において取得しました



《働きやすい職場推進分科会メンバー紹介》

総務部 小城 寛 財務部 田中 圭 総合政策部 田島 晴信 中部関西地区本部 藤井 健

編集後記

将来どげんすっと?!

「Shourai DoGensutto?!」

SDGsを筑後弁で言うと「将来どげんすっと?!」というジョークを最近耳にしました。身近なことは「将来どげんすっと?!」と心配する私たちですが、地球のこととなるとあまりに壮大すぎて急に他人事になってしまいます。地球温暖化は近い将来、私たちの住環境に深刻な影響を及ぼすといわれています。これからは、地球のことも「将来どげんすっと?!」を合言葉にSDGsに取り組みましょう。

